

修了式・離任式に変えて 3月23日(月)

～1・2学年集会での挨拶要旨～

皆さんおはようございます。

2月末、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、急遽、学校が一斉休校になって約1か月、国難とはいえ、1年間でとても大切な年度末が不自由でもどかしい日々となってしまいました。皆さんはどんな生活を送ってきたでしょうか。

3月1日には、3年生の272名先輩が、上山明新館高校で培った学びやたくさん思い出をもって、4月からの進学・就職といった次のステージに向けて旅立ちました。残念ながら、一緒に学校を創ってきた皆さんが、3年生の新たな門出である卒業式への出席もかないませんでした。式の前日の午後になって、卒業生の保護者の参加も認められないとの県教委からの連絡がきて、卒業生と先生方だけの式となりました。

それでも、式の当日は、入場から退場まで3年生は前をしっかりと向いて、立派に巣立っていきました。それは高校生生活を送ってきた「充実感」、「感謝の気持ち」、「何より明新館高校で学んだ誇り」がもたらすものと感じました。これから卒業生も、皆さんも、この3年間明新館で学んだ同窓生となりますので、また笑って高校生活を懐かしく振り返ってもらいたいと思います。

そして、今日皆さんに、この春の人事異動で、上山明新館高校での時間を共にしてきた先生方とお別れすることになりました。

本来ならば、異動される先生方、お一人、お一人からお別れのお言葉をいただくところですが、全体の離任式の開催もかなわないとのことで学年集会に限って、短時間での開催になりましたので、後ほど配布するプリントでの紹介に変えたいと思います。

私もその異動のプリントに載っていますが、昭和57年に本校の前身である上山農業高校に赴任して以来、38年間、無事に勤めあげ、定年退職することになりました。最後の3年間は、上山明新館高校ですので、一生の思い出になると思います。上山明新館高校で過ごした日々を大切にしながら、第二の人生を歩んでいきたいと思っています。生徒の皆さんの、今後一層の活躍と、上山明新館高等学校の発展を祈念し、お別れの挨拶といたします。本当にありがとうございました。